

潅水支援システムを活用した乾燥ストレスの評価方法

はじめに

Web サービスである栽培管理支援システム (<u>https://agmis.naro.go.jp/</u>) に含まれている「大 豆の栽培管理支援情報:潅水支援」を使うことで、過去の気象条件での乾燥ストレスの程度 が推定できます。ここでは、その方法を説明します。

1. アカウント取得からログインまで

栽培管理支援システム (https://agmis.naro.go.jp/SIP/) から、左の図の①から③の手順で



リックします。クリックされた地点の緯度経度が左側の表に出ますので、③名前をつけて、



登録内容を確定してくだ さい。

3. 圃場データの入力

779 KS45 287 3 1-1	- R deskner's NEO 💔 Tanoor JAPA	N 📽 (東北市・八郎本市) 🚹 ネット	2-27-62 🚾 Dynamia	🖩 2214 🌞 Dropber	、「切期他の	1月]
	教培支援情報 > 大豆> 灌水支援			栽培管理支援システム var10 よりにそ 高質的にさん		
19291		灌木支援	3登録	もした地点	を選びます	
an an	ANTA	ホストレス指数の算出を行い	±7.		作用けど連携してチェックしたい場合は	
14	灌水支護	1. 編場を選択してくたみい				
	作作品表示	國場 東北島 18日 39.457	(業初究センター(大面) 0561 標準(m)	20.0		
Diam a ser		0. Atta (5.J. 05.1 to	TEM			
	。 [海山士經] 7	act Milem	0.1~0.75.1			
-	② 准小又抜」	出来日	2019 38 6 月 10			
	選びます	a 149.7 a 1 68 1 40	0			
atexatina 2		THE PARAMENT	180	42.001年2月1日日	ま160項目をませした場合は お周値の両計算を行ってください。	
9		\$21.51.6.V.M	15.8	B-Netaron	6月20日	ר
		作土菜 最大根草(m	0.14	100%51パー日	8 月 6 日	1
Section 1		目標ポク土				
	①「我培支援情	最大作物高(m) (第十の時期4-54)	1.20			
6484	報」から「大豆	110 B	(30) (2011年から出来日の年のデー	シン用いて計算します。		J
00	へ進みます	暦日 スアージ	降水量 灌水量 ETo (mm) (mm) (mm)	ETc-adj 土壤水分 (mm) (76) (たたま ホストレス指数	
-		05/10	0.0000 0.0000 3.5675	4.2608 41.2696	35.5574 200 10	の項目
84		06/11	0.0000 0 0000 3 7892	4.4538 38.0668	31.1736 をひ入力し	て.言
		05/12	0.0000 8.0000 4.0620	4.4507 34.8806	25.7129 00000	1
		05/14	0.0000 0.0000 4.7152	4.0029 29.2913	18.8678 見示タン	を押し
		06/15	3.0342 0 8000 2.2368	1.8828 30.1137	20.0391 0-00-	
		06/15	21.2377 0 1000 0 7269	0.8231 44.6555	40.4537	
		06/17	7.5840 0.0000 2.5084	2.9336 48.0000	40.0800 0.0000	

①「栽培支援情報」へ行き、②「潅水支援」を選択します。

次に③地点登録で登録し た圃場を選び、④条間・播 種日を入力します。その 後、<u>必ず初期値の計算ボ</u> タンを押します。

最後に⑤その他の項目を 入力し、「計算」ボタンを 押します。※その他の項 目の入力で不明な点は 5. を参照ください。

4. 結果の見かた



「グラフ」ボタンを押すと、左のようなグラフが出ます。上のグラフの赤線の部分が乾燥ス

トレスを受けている時期です。ど んな地域でも5日程度は赤線の時 期がありますが、この期間が長い ようでしたら、適期潅水や深耕等 の乾燥ストレス対策を考えてくだ さい。

5. その他の項目の入力について

(1) 圃場容水量・永久しおれ点 これらの数字を求める第一の方法 は、土性から推定する方法です。そ

れぞれの項目をクリックすると、簡単に土性を調べる方法と、その土性に対応した圃場容水 量・永久しおれ点が参照できるようになっています。第二の方法は e-土壌図 II (<u>https://so</u> <u>il-inventory.dc.affrc.go.jp/eSoilMap.html</u>)を参照することです。e 土壌図の使い方は、ここ では説明しません。e-土壌図 II のサイトを御覧ください。

(2) 10%カバー日・100%カバー日

ダイズの被覆程度で決まる暦日です。おおよその値が自動的に計算されます。通常はこの暦 日を使えば問題ありませんが、実感と異なるようでしたら、手入力できます。10%カバー、 100%カバーの様子はクリックすれば写真で確認できます。

(2)灌水の閾値

<u>判らない場合は 70%</u>として下さい。グラフの赤い表示部分が変わるだけで、計算値には影響はありません。

(3) 最大作物高

最大に茂った時の大豆の高さです。おおよその数字で問題ありません。